

# 便秘傾向女性における乳酸菌生成エキスの排便症状改善効果

■ 試験実施機関：生光会診療所

■ 試験受託機関：株式会社ティーティーシー

## 【要約】

『乳酸菌生成エキス』の便通改善効果を調べるため、摂取前後での排便回数・排便量・排便日数を検査した。被験者は、平均年齢30歳の女性7名を対象とした。

その結果、摂取期間2週間の排便回数、排便量、排便日数は、ともに摂取前の前観察2週間と比べ有意に多かった( $P < 0.01$ )。よって『乳酸菌生成エキス』の摂取により、便通が改善することが確認された。

## 【方法】

便秘傾向にある7名の女性(30.6±4.5歳)に、『乳酸菌生成エキス』10mlを朝晩1本ずつ3週間連続摂取させ、前観察期間2週間及び摂取期間2週間において、排便回数(排便有りの日数)、排便量(比較対象として卵形の本型を配布)を記録した。

また、前観察期間終了後の1週間及び摂取期間の3週目排便時に便を採取して、排便中の腐敗産物のp-クレゾール、4e-フェノール、インドールを測定した。

## 【結果】

①排便回数は、前観察期間は4.9±0.6回/2週間、摂取期間は8.1±0.9回/2週間であり、**1.65倍**有意に多かった( $P < 0.01$ ) (Fig.1)。

②排便量は、前観察期間は7.4±1.7個/2週間、摂取期間は13.9±1.9個/2週間であり、**1.88倍**有意に多かった( $P < 0.01$ ) (Fig.2)。

③排便日数は、前観察期間は4.6±0.6日/2週間、摂取期間は7.6±0.6日/2週間であり、**1.65倍**有意に多かった( $P < 0.01$ ) (Fig.3)。

また、腐敗産物のp-クレゾール、4e-フェノール、インドールの平均値はいずれも減少した。これらの結果から、『乳酸菌生成エキス』の摂取により、便通が改善することが確認された。

Fig.1. 排便回数の変化

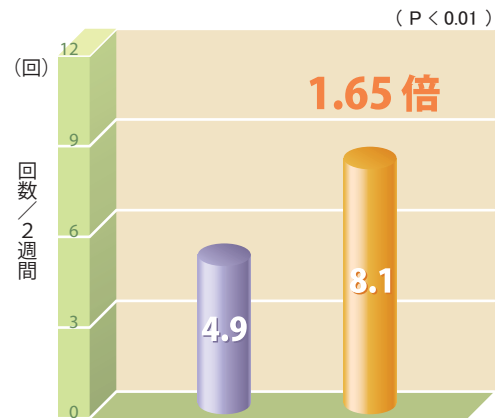


Fig.2. 排便量の変化

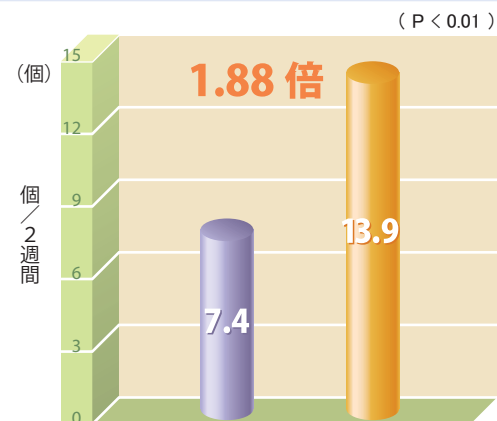
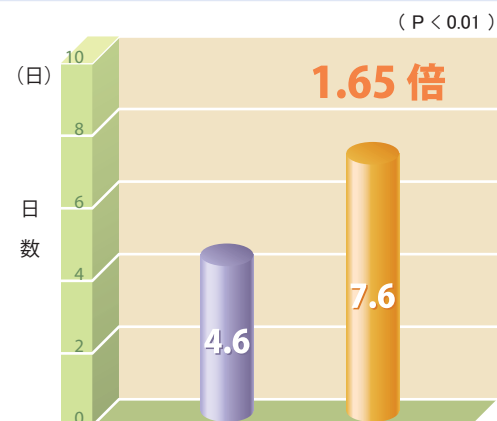


Fig.3. 排便日数の変化



■ : 前観察期間      ■ : 『乳酸菌生成エキス』摂取期間